

赤道

藤井真之

今年の春のお彼岸法要より、『サービスブック（勤行本）』が新しくなりました。以前の白いサービスブックと比べてサイズが大きくなり、多くの皆様にとつて読んでいただきやすくなりました。北米開教区ではだいたい、十年に一度勤行本の作り替えをしているのですが、今回のものには、初めてお寺に参拝された方向けに、お寺でのマナーやお焼香の仕方など簡単な説明も追加されました。

また、これまでで初めて、ハワイの開教使さん等と共同で作成、日曜礼拝での北米・ハワイ両方の式次第を収録いたしました。別院の日曜礼拝でも早速、ハワイの方で使用するに英語版『恩徳讃』を歌う機会がありました。東本願寺として北米とハワイとが互いに教えを聞き続けていければと感じました。

日本の勤行本は、僧侶、門徒の間では、赤本（あかほん）と呼ばれて「あかほんくん」というキャラクターがいるくらい親しまれておりますが、北米、ハワイで使用している赤いデザインになりました。「なぜ赤い色なのか？」「何か赤いことに意味があるんですか？」と聞かれる方もありますが、一説では血の赤色が由来になっていると言われております。今からおおよそ五百年以上前、お寺のお内陣向かって左側の掛け軸に描かれていた本願寺八代目の蓮如上人の時代のお話です。一四七一年蓮如上人五十一歳の時、越前吉崎（現在の福井県あらわ市吉崎）に吉崎御坊を建立され、上人はこの地で民衆に教えを説き、御文（おふみ）と呼ばれる手紙や「南無阿弥陀仏」の六字名号を門徒の方に書かれていらつしやいました。

一四七四年三月二十八日の夕刻、吉崎御坊が火事に見舞われ、蓮如上人は火災から逃れることができませんでした。親鸞聖人直筆の『教行信証』がその中にまだ残っていたことに気がつかれました。『教行信証』の中には、私たちが普段日曜礼拝等で読んでおります『正信偈』も含まれており古くからお聖教（しょうぎょう）と呼ばれているもの一つです。皆が火の海の前に呆然と立ち尽くしている中、『教行信証』が中に残っていることを聞いた一人の弟子本向坊了顕（ほんこうぼうりょうけん）が、蓮如上人を含め周りの制止を振り切つて、火の中に飛び込んでいきました。なんとか『教行信証』を見つけた本向坊でしたが、すでに四方を火で囲まれ引き返すことができなくなりました。そこで、自らの腹を小刀で切り裂き、『教行信証』の巻物をそこに収めてお聖教が火事で焼失することから命を懸けて守られたのでした。

この話から、この焼失を免れた『教行信証』は『腹篋（はらごも）』のお聖教と呼ばれ、本向坊の遺徳を偲び、勤行本の表紙の色が真っ赤な色となったという説があります。

『腹篋りのお聖教』の話は、自分のお腹にお聖教を入れて守つたという非常に衝撃的なお話であり、僧侶であっても誰でもあつても簡単に真似のできる事ではないため単なる教えのために命を懸けた偉人の美談の一つとして捉えてしまいがちです。しかし、この話を単に昔の時代に篤信の僧侶がいた、すごい人がいたもんだという感想を持つだけに留まつてはいけません。

（3ページへ続く）

行事予定

- 六月
 - 十八日 父の日・卒業 祝い家族礼拝
 - 二十五日 日曜礼拝
 - 卒園式
- 七月
 - 二日 七月祥月法要
 - 八日 ルンビニ幼稚園
 - 九日 日曜礼拝
 - 十六日 お盆家族礼拝
 - ベツト礼拝
 - 二十三日 日曜礼拝
 - 二十九日 お盆祭り
 - 三十日 お盆初盆法要
 - 三十日 お盆祭り
- 八月
 - 六日 八月祥月法要
 - 十三日 日曜礼拝

別院ニュース

母の日家族礼拝

五月十三日(日)に母の日の朝食会が開かれました。この日は朝早くからメンバーがお寺に集まり、お母さんと家族のために料理をしました。おいしくて温かいソーセージ、ハム、卵料理に新鮮なフルーツやヨーグルトと飲み物をいただき、笑顔に溢れたひとときとなりました。日曜礼拝では英語でケリー・コマツさんから、お祖母さんとお母さんに育ててもらったことについてのお話がありました。お寺の行事はメンバーがともに作りあげています。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝致します。



花まつり クラフトフェア

花まつりクラフトフェアが四月二十九日(日)に開催され、売上は青少年事業及び寺院建物維持のために寄附されました。金曜夜の準備から多くの方が集まり、色々な売り物のテーブルが用意されました。青少年グループは、南カリフォルニア地区ジュニアYBTの行事に参加する基金を集めるために、売店を開きました。ルンビニ保育園は飲み物や食べ物を買って、クラフト好きのメンバーが、手作りの編みぐるみ、アクセサリ、ソーブ、グリーティングカードやニット製品を出品されてました。皆様のおかげで素晴らしいクラフトフェアになりました。来年の基金集めのフェアも楽しみにしています。

太鼓ニュース

四月の花まつり法要のため、凡夫太鼓のメンバーは今年もお花を寄附下さり、

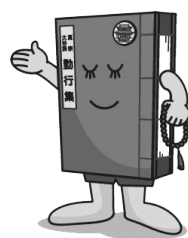
フラワーアレンジメントをお仕事にされている、さかもと・りささんを中心に、とても美しい花御堂をお飾りいただきました。凡夫太鼓の皆様、長時間作業いただき誠にありがとうございました。

お知らせ

第五十九回 お盆まつり

毎年恒例の東本願寺お盆祭りが七月二十八日(土)二十九日(日)午後一時から九時まで行われます。初盆法要(今年初めてお盆をお迎えする方の法要)は七月二十九日(日)午前十一時から本堂で勤められます。またお盆祭りの期間中には万灯会(まんとうえ)と申しまして、数多くの灯が飾られます。私たちの頭上ではためく提灯は、まるでお亡くなりになった方々が私たちを見守って下さっているかのようです。万灯会法要のお勤めは両日とも午後六時からございます。提灯はお買い求めいただけます。事前の短冊に亡き人

のお名前をお記しいただくこともできます。お盆祭りのイベントは午後一時から始まりです。ちらし寿司、うどん、チキン照り焼き、ビーフ照り焼き、チリライス、タマリ、栗まんじゅう、かき氷、ハンバーガー、ホットドッグなど様々な美味しい食べ物をご用意しております。ゲームやビンゴで楽しんだり、新鮮な野菜や植木、切り花をお安くお求めいただいたり、太鼓や日本舞踊などのパフォーマンスをご覧いただきたい、当日はイベントが盛り沢山です。お待ちかねの盆踊りは、万灯会法要に引き続き、午後六時半から午後八時半までです。初めて踊る方でも大丈夫!楽しく踊りましょう。お盆祭りの最後のプログラムは、日曜日の午後八時半からのくじ引き(ラッフル)です。豪華景品が当たるかもしれません。皆様のお参りをお待ちいたしております。



父の日・卒業祝い家族礼拝

六月十八日(日) 午前十時

お盆 家族礼拝

七月十六日(日) 午前十時

お盆 初盆法要

七月三十日(日) 午前十一時

どうぞお誘い合わせの上、御参拝下さい。詳しくは「お知らせ」(三ページ)をご覧ください。

盆踊り練習会

盆踊りの練習が左記の水曜日と金曜日の午後七時半から九時まで、階下のソーシャルホールで行われます。水曜日：六月二十七日・七月十一日・七月十八日・七月二十九日・七月六日・七月十三日・七月二十日運動にとってもいいですよ！うちわ、カチカチをご持参ください。お持ちでない方も、貸し出しをいたしますので是非参加ください。今年もどうぞよろしくお願いたします。

万灯会提灯

万灯会提灯のご注文を開始しました。注文用紙が必要な方は、寺務所にございます。提灯の数に限りがございますので、なるべくお早めに寺務所までご連絡下さい。提灯一つにつき二十五ドルです。お盆祭りの後に提灯をお持ち帰りになられる場合は、あらかじめ寺務所にご連絡をお願い致します。ご連絡いただきました提灯につきまして

は、お盆祭り終了後から寺務所にて九月一日まで保管させていただきます。

お盆まつり ギフトカード

友人やご家族への贈り物としてギフト券はいかがでしょうか。土曜・日曜のお盆祭りブースの食事を購入するのにとても便利です。寺務所にて一枚五ドルで販売中です。郵送をご希望の方は七月二十日(金)までにお支払いをお願い致します。

バーゲンセール

今年のバーゲンセールは八月十九日(日)午前八時から午後三時まで、別院階下のソーシャルホールで開催します。午後一時から三時まで半額セールを行います。(午後十二時半から一時までの三十分間は、セール準備のため閉店します)毎年参加者も規模も大きくなっているバーゲンセールです。今年は去年よりさらに多くの皆様にお楽しみいただけることと思います。皆様からは毎年ご支援、

ご寄附をいただきまして心より感謝申し上げます。今年もご協力をよろしくお願致します。「出品方法」

収集期間：八月十日(木)から八月十二日(日)までの十日間。仕分け等の準備の関係上、期間を過ぎての品物のお引き受けは出来かねますので、あらかじめご了承ください。目安価格：ご寄附いただける品物を目安となる販売価格をつけて別院事務所までお持ちよりください。分類：衣料品は二種類に分けてください。一つ目はタグ付きの新品の衣料品。二つ目は新品または新品同様のコート・ジャケット・セーターです。二種類は別の場所で販売致しますので、別々の袋に入れてお持ちください。その他の衣料品は着物を除きお引き受けできませんのでご注意ください。寄附品新品または新品同様で、現状のまま販売可能な状態のものプラスチック製品、ガラス製品、銀製品(色あせしていないもの)、キッチン用品、装飾品、日本製の漆製品、陶器、着物、浴

衣、帯、下駄、草履、文房具ならびにオフィス用品、既成のCD、DVD、LPレコード、布製品(エプロン、スカーフ、手袋、新品の靴下、タオル、財布、ポーチなど)、パズル(パーツの揃ったもの)、ゲーム(一式揃ったもの)、ぬいぐるみ(状態の良い綺麗なもの)、手作り工芸品、かばん、懐中電灯などの電気器具(電池の必要なものは新しい電池を入れておいて下さい) 出品できない品物

化粧品、書籍類、クッション、枕、カセットテープ、VHSビデオテープ、タッパーなどのプラスチック用品、破れ・欠け・色あせのしているもの、個人名が記載された記念品 空き缶、食品、ベビー用品(ベビー座席シート、ハイチェア、マットレスなど) 家具などの大型製品、大型のスポーツ用品(自転車、スキー板、ゴルフクラブ、テニスラケットなど)、電気製品(コンピュータ、プリンター、電話など) 其他のお願い 壊れやすいものは紙に包んで下さい。コップやお皿な

ど揃いのものは組にして一つの箱に入れて下さい。ネットレス、ブレスレット、キーホルダーなどの小物は小分けにして袋や封筒に入れて下さい。(絡まり防止のため) 品物はそのまますぐに販売できる状態でお持ち下さい、お持ちいただく品物は、重ねられるようにフタ付きの箱に入れていただき、「BBS」または「BIG BARGAIN SALE」

とお書き添えいただければ幸いです。衣類に関しては他の品物と別にしていただき、箱・袋いずれでも結構です。「タグ付き新品衣料品」「NEW CLOTHING WITH TAGS」または「コート、ジャケット、セーター」「COATS, JACKETS, & SWEATERS」ご記載下さい。いろいろと細かなお願いで恐縮ですが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。再度収集期間を記載させていただきます。収集期間：八月十日(木)から八月十二日(日)までの十日間です。ご質問がございましたら、別院寺務所(213-626-4200)へ

お電話いただき、松村エミリー宛にメッセージをお願い致します。折り返しご連絡させていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

ニュースレターと郵便物に関する大切なお知らせ

ここ数か月間、主に印刷コストと郵便料金の上昇のため、ニュースレターや郵送の頻度を減らし始めております。郵送物の読者を正確に把握するための簡単な方法はありませんが、今後は郵送物を減らして無駄な経費の削減を行ってまいります。現在、毎月発行していたニュースレターを年に八回発行に変更いたしました。(新年やお盆などの寺院の大きい行事がある月には従来どおり発行させていただきます) また、電子メール版ニュースレターをお求めの方々に、印刷版の発送停止をさせていただきます。今後、各ご家庭に郵便ではなく電子メールにてニュースレターをお

受け取りいただく、大幅な経費の削減が見込まれます。郵便の代わりに電子メールでニュースレターのお受け取りをご希望の場合はお知らせください。この度の変更につきまして、皆様にご不便をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。ご理解とご協力いただき、感謝致します。今後とも寺院護持・運営にお力添えいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



「赤本」

(1ページからの続き)

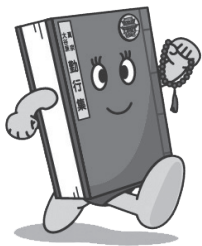
「なぜ本向坊が命を懸けてまで聖教を守ったのか」、「命を懸けてまで本向坊が私たちに伝えたかったことは何なのか」、「仏様から今、私たちが何が願われているのか」、ということに耳を傾けていかなければならないと思います。

蓮如上人が記された御文の中に、『白骨の御文』というものがありませんが、その中に、「朝(あ

した)には紅顔(こうがん)ありて夕(ゆう)べには白骨(はつこつ)となれる身なり」という一文があります。この御文には、人間の命の儚さが表され、人の死というもののは年齢に関わりなくやってくるものであり、朝に元気な顔をしていても夕方には突然命が終わってしまうかもしれない命を私たちは生きており、ということが記されており

ます。だからこそ、日々の忙しきにかまけて毎日を無為に過ごすのではなく、一瞬一瞬を大切に、悔いがないように一生懸命生きてほしい、ということが仏様から願われているのだと思います。おそらく、本向坊も火事が起こった日の朝は、自分が夕方には命を失っているなんてことを想像だにしていなかったのかもしれません。しかし、一刻を争う事態に、瞬時に意を決して行動ができたのは、蓮如上人の元で普段から仏法を聞き、自分の気持ちと向き合いながら、その時その時を悔

いのないように過ごしてきたからなのではないかと思えます。もちろん何よりも大切なものは命です。いかなる命も尊く、失われてもいい命などないというのが仏教の教えだと思います。しかし、自らの命をもつて私たちへ、その命の尊さを教えてくださった方々がいることも事実です。そのことを忘れず、一日一日を大切に過ごしていけるよう、これからも仏法を聴聞させていただく生活をしていければと思います。



同朋のお悔み

岩本 竹子 アリス様

三月十二日 御命終
行年九十四歳

スندگان マラマ子様

三月十五日 御命終
行年八十三歳

福元 康幸様

三月十六日 御命終
行年八十五歳

山肩 博子 様

四月十五日 御命終
行年八十四歳

豊田 智 様

四月二十二日 御命終
行年九十五歳

池田 淳一 様

五月十日 御命終
行年七十歳

謹んで哀悼の意を表します。

